佐賀の果樹　12月号

12月は温州ミカン、中晩柑では収穫前の腐敗防止対策、落葉果樹は次年度に向けて病害虫の発生を減らす対策を行う時期です。

収穫の終わった園では、この時期に本年の病害虫の発生状況をしっかり振り返り、次年度の防除対策に活かしましょう。

＜露地カンキツ＞

〇果実腐敗対策（緑かび病等）

果実腐敗を防ぐためには、収穫前の薬剤散布、果実の収穫・選別作業において丁寧な取り扱いが重要です。

薬剤の散布時期は品種によって異なります。

①年内出荷の早生及び普通温州

収穫7～10日前に【トップジンM水和剤2,000倍またはベンレート水和剤4,000倍】と【ベフラン液剤25 2,000倍】の混用散布か、ベフトップジンフロアブル1,500倍を散布します。

②施設中晩生カンキツ類

収穫7～10日前に【ベンレート水和剤4,000倍】と【ベフラン液剤25 2,000倍】の混用散布か、ベフトップジンフロアブル1,500倍を散布します。

③貯蔵して年明けに出荷する高糖系温州や中晩生カンキツ類

７～21日前に【ベンレート水和剤4,000倍】と【ベフラン液剤25 2,000倍】の混用散布か、ベフトップジンフロアブル1,500倍を散布します。中晩生カンキツ類で袋かけする品種は、袋かけ直前に散布します。

散布の際は薬液が霧状になるノズルを使用し、果実１つ１つを包み込むように丁寧に散布してください。

収穫の際は果実に傷をつけないことが最も重要です。降雨や特に結露などで果実が濡れているときは果皮が傷つきやすいので収穫を避け、収穫時には果実にハサミ傷をつけない、手荒に取り扱わない、収穫中のコンテナ内に枯れ枝を入れない等に徹底して取り組んでください。

貯蔵の際は、貯蔵する前に腐敗しやすい浮皮の著しい果実や傷果は取り除き、貯蔵庫内の温湿度が急激に変化しないように注意します。本年は酸切れが早いため貯蔵中の腐敗果が増えることが懸念されます。こまめに果実を見回るとともに、腐敗果を見つけた場合は早急に取り除き、貯蔵庫外で適切に処分してください。詳細は本誌９月号（10～12頁）を参考にしてください。

〇越冬害虫対策

近年、ヤノネカイガラムシ等のカイガラムシ類の寄生が多い園が散見されます。カイガラムシ類の防除対策として冬季のマシン油乳剤散布が有効なので、本種が問題となっている園では、マシン油乳剤97% 60倍を必ず散布してください。散布の際は、様々な方向から散布したり樹冠内

部にノズルを入れたりして、葉裏や樹冠内部などの薬液がかかりにくい部分にも丁寧に散布してください。

ただし、厳冬期にマシン油乳剤を散布すると落葉を助長する可能性があるため、散布する時期は12月中下旬から１月上旬までとしてください。

なお、樹勢が低下している樹に対しては、マシン油乳剤を散布すると落葉を助長する等の悪影響があるため使用を控え、生育期の殺虫剤で対応します。

＜落葉果樹全般＞

〇落葉処理

ナシの黒星病、炭そ病、ブドウのべと病や褐斑病等は、落葉に残った病原菌が翌年の重要な伝染源となります。そのため、落葉は集めて園外へ持ち出すなど適切に処分します。特に園の隅や樹の近くは落葉が残りやすいので注意してください。

〇越冬害虫対策

近年、モモ、スモモ等でカイガラムシ類の寄生が多い樹が散見されます。そのような園では、12月上中旬にマシン油乳剤97％ 50倍を散布してください。虫体にムラなくかかるよう風のない日に四方から枝幹に丁寧に散布します。

ただし、樹勢が弱っている樹に対しての散布は控え、生育期に殺虫剤で防除を行います。

＜ナシ＞

〇白紋羽病対策

発病樹にはフロンサイドＳＣ 500倍（１樹あたり約100㍑が目安）を潅注処理します。本処理の効果は２年程度持続しますが、それ以降に再発する場合があるため、根部を確認し、再発していれば再処理を行ってください。ただし、発病が激しく樹勢低下が著しい樹では完全な樹勢回復は見込めないことから、植え替えを検討してください。

発病樹周囲の樹は感染が拡大する可能性があるため、フロンサイドSC 1,000倍で潅注処理します。

苗木を植え付ける際は、必ずフロンサイドSCの潅注処理を行います。特に、白紋羽病の影響で植え替えをする場合は、土壌の入れ替え処理を行った後で薬剤処理を行います。

＜キウイフルーツ＞

〇かいよう病対策

冬季はかいよう病の重要な防除時期です。収穫後から発芽前まで、１カ月間隔でICボルドー66D 50倍等で防除を行いましょう。また、本病原細菌は、収穫、落葉、せん定等の傷口等から感染するため、収穫後、落葉後、剪定の前後にも防除を行います。

せん定作業は健全園、健全樹から行い、切り口にはトップジンMペーストを必ず塗布しましょ

う。手や使用する器具は70%エタノール等でこまめに消毒し、管理作業による感染を防ぎましょう。